

1 総務班

総務班は、研究所の庶務経理、他機関等との連絡調整、環境総合センターの管理等の業務を行っています。

2 環境学習班

環境学習班は、環境・科学学習会等の企画運営の業務を行っています。

当研究所は、建設にあたっての基本理念に「市民に開かれた研究所」を掲げており、市民向けの環境教室等を企画、開催しています。また、環境や保健衛生に関する各種パネルを製作し、機会を捉えて啓発に活用しています。平成19年度に実施した環境学習等の開催状況は、次のとおりです。

(1) 自主開催

平成19年度に実施した市民啓発活動の一覧を表1に示します。

表1 平成19年度市民啓発活動一覧

年 月 日	事業名	参加者数
平成19年		
5月20日(日)	第1回親子エコスクール	47人
6月16日(日)	第1回親子環境探検隊	83人
7月21日(土)、28日(土) 2日間	ジュニア環境科学セミナー	31人
7月23日(月)～8月17日(金) 20日間	夏休み子ども環境教室	494人
8月20日、22日、23日 3日間	環境学習指導者研修会	41人
9月23日(日)	第2回親子エコスクール	51人
11月11日(日)	第2回親子環境探検隊	41人
11月26日(日)	科学体感フェア2006	435人
平成20年		
1月27日(日)	第3回親子エコスクール	39人
2月17日(日)	第4回親子エコスクール	18人
3月16日(日)	第3回親子環境探検隊	27人
3月25日(火)～28日(金)、31日(月) 5日間	春休み子ども環境教室	84人

ア 親子環境探検隊

環境保全に対する意識の形成が子どもの頃からの自然体験や家庭での取り組みが重要であることに着目し、親子でともに学べる場として「親子環境探検隊」を実施しています。この探検隊は、自然とのふれあいを通して、人と自然の共生について考え、環境保全行動へとつなげてもらうことを目的としています。

第1回親子環境探検隊 ～守り育てる！干潟の自然～

干潟の生物観察を通して、自分たちの暮らしと自然の関わりについて学び、自然の大切さ

を理解するとともに、自然の保護や環境を保全するためにはどのような行動をしなければならぬか親子で考えてもらうことをねらいとしました。

開催日：平成19年6月16日（日）

参加者：熊本市親子83人

探検場所：熊本県水産研究センター →住吉町干潟

内容：水産研究センターの業務と役割

有明海の干潟の生き物観察



第2回親子環境探検隊 ～守り育てる！森と水の都～

森の機能の学習や自然観察を通して、自分たちの暮らしと自然の関わりについて学び、自然の大切さを理解するとともに、自然の保護や環境を保全するためにはどのような行動をしなければならぬか親子で考えてもらうことをねらいとしました。

開催日：平成19年11月11日（日）

参加者：熊本市親子41人

探検場所：天然水の森探検

内容：森林の機能学習、天然素材を使った工作



第3回親子環境探検隊 ～守り育てよう！里山の自然～

里山の自然とのふれあいを通して、人と自然の共生について親子でともに考え、環境保全行動へとつなげることをねらいとしました。

開催日：平成20年3月16日（日）

参加者：熊本市親子27人

探検場所：立田山

内容：立田山の自然探検（探そう！春の息吹）

ネイチャーゲーム、工作など



イ 夏休み子ども環境教室

夏休みの期間を利用して子どもたちに環境に関する簡単な科学実験や観察を体験させることにより、環境問題や科学に対する興味と関心を深めてもらうことを目的に実施しています。

対象：小学校4～6年生

期間：平成19年7月23日～8月17日（土・日を除く20日間）

参加者：494人

内容：

月曜日・・・温暖化や酸性雨などの地球環境をチェックしよう

火曜日・・・牛乳パックを再生してオリジナルはがきを作ろう

水曜日・・・私たちの命の水を調べよう

木曜日・・・手作り顕微鏡で小さな生き物を観察しよう

金曜日・・・ソーラー電池の性質と紫外線を調べよう



ウ ジュニア環境科学セミナー

環境教育、社会教育の一環として実施するものであり、中学生に自然観察や実験を体験させることにより、環境問題や科学に対する意識の高揚を図るものです。

対 象：中学生

期 間：平成 19 年 7 月 21 日、28 日の 2 日間

参加者：31 人

内 容：①水環境を学ぼう！江津湖の水生生物をチェック！
②クリーンエネルギーを体感！太陽、風力、燃料電池



エ 春休み子ども環境教室

春休みの期間を利用して子どもたちに簡単な環境に関する科学実験や観察を体験させることにより、環境問題や科学に対する興味と関心を深めてもらうことを目的に実施しています。

対 象：小学校 4～6 年生

期 間：平成 20 年 3 月 25 日(火)～28 日(金)、31 日(月)の 5 日間

参加者：84 人

内 容：

月曜日・・・温暖化や酸性雨などの地球環境をチェックしよう

火曜日・・・牛乳パックを再生してオリジナルはがきを作ろう

水曜日・・・私たちの命の水を調べよう

木曜日・・・手作り顕微鏡で小さな生き物を観察しよう

金曜日・・・ソーラー電池の性質と紫外線を調べよう



オ 親子エコスクール

小学校低学年とその保護者を対象に環境に関する体験学習を通して、親子で環境について学ぶための教室を開催しています。この事業は、平成 18 年度から実施しています。

対 象：小学校 1～3 年生とその保護者

期 間：平成 19 年 5 月、9 月と平成 20 年 1 月、2 月に、午前・午後の延べ 8 回開催

参加者：155 人

内 容：5 月「太陽のパワーを体感」

9 月「草花染め、竹笛作り」

1 月「廃食油でキャンドル作り」

2 月「紙すきとダンボール工作」



カ 環境学習指導者研修会

環境教育に取り組もうとする教職員を対象に情報の提供や体験学習の実践方法など環境学習指導者のための研修会を開催しています。この事業は、平成17年度から実施しています。

対 象：小中学校教職員

期 間：平成19年8月20日、22日、23日の3日間

参加者：41人

内 容：20日（水） 「水環境」
22日（木） 「大気環境」
23日（金） 「ごみと資源」



キ 科学体感フェア2007

当センターを広く市民に開放し、環境教育・学習の拠点施設としての機能をPRするとともに、科学実験の体験や各種展示物を通して、当所が実施している試験研究等への業務理解と環境保全並びに保健衛生に関する意識の高揚を図ることを目的に開催しました。

対 象：市民

期 間：平成19年11月26日（日）

来館者：435人

内 容：科学実験・実演、科学遊び、
クイズラリー、パネル等展示等



(2) 依頼による開催

小・中学校での総合学習の導入により、環境学習に取り組む学校が増えたことに伴い、学校からの環境に関する講話や指導の依頼も増加しています。

平成19年度の環境学習会の開催状況は表2のとおりです。小・中学校や子ども会等からの学習会の依頼は53件あり、延べ2,018人が参加しました。



